

防災活動記録



◆多摩ブロック内スキルアップ講座として『気象災害から身を守る』を開催しました。

講師:多摩ブロック副代表 坂田 氏
場所:立川市女性総合センター 5階第3会議室
受講者:多摩ブロックメンバー 13名
立川市災害ネットワークメンバー 13名

※立川市災害ネットワークは立川社会福祉協議会を通じてお声掛けして参加いただきました。

講師は元自衛隊員で気象予報士資格を持ち、気象情報と災害発生の関係を事例を含め話された。

1. 日本列島の成り立ち

大陸移動による地形の形成、また、プレート移動に起因する地震発生メカニズム。地殻変動と火山活動。

<直近の災害>

- ・九州地震。
- ・九州集中豪雨。

<いま想定される地震>

- ・東海・東南海地震。
- ・首都圏直下地震。
- ・多摩直下地震。

2. 気象変動から身を守る

- ①積乱雲の外的特徴、なぜ発生
- ②急な大雨(局地的大雨)による災害
 - ・危険な場所
 - ・車での避難で留意
 - ・落雷から身を守る
- ③竜巻・ダウンバーストとは
- ④気象庁レーダーナウキャスト
- ⑤特別警報の種類(警報名と発表基準)



3. まとめ

地震は防ぐことはできないが、気象災害は知識と行動と事前対策により、無限に『被害ゼロ』に近づけることができる。

自分の住んでいる「場所」を良く知る。
(気象防災の第一歩！)

災害は『まさか』ではなく、『いつか』起きるもの
認識し、いざという時の心構えと常日頃の備えをしっかりと！

※今回、立川市災害ネットワークの方々も参加されたこともあり、同ネットワークと関係深い井上事務局長から九州集中豪雨災害の被災地ボランティア本部活動と現地被災状況が報告されました。
◎床下からの泥出し例:「建物構造体に手を出してはいけない」●強度低下による倒壊誘因につながる恐れ。
ボランティア活動:やっといういいこと●「主からの依頼範囲」まで。 ⇨支援側の思いで行動することはしてはいけない。